

一般入試後期D日程

英 語

I

■出題のねらい

パラリンピックの代表選手が準備会議で日本に行くという想定のもとに、友人同士のあいだで交わされる日常的な会話を題材とした問題です。口語的な会話表現や、会話内容についての理解ができているかが問われています。

■採点講評

あまりよい正答率ではありませんでした。会話表現や状況文脈を読み解く力を身につけましょう。□2の **check out places**（場所を調べる・確認する）や□6の **sleep on it**（～について一晩考える・しばらく考える）などは口語英語でよく使われる表現です。また□3の入場料金については、図の情報（車椅子使用者の同伴者も半額）を見逃さないように注意しましょう。

II

■出題のねらい

科学の手法について説明した英文を読み、実験例との照合などを通して情報が正確につかめているかを問う問題です。

■採点講評

正答率は5割程度でした。勝手な思い込みで判断せず、英文に書かれた情報を正確につかむようにしましょう。□7は、記事の内容が科学的な調査・研究の方法について述べていることを理解しましょう。またたとえ **hypothesis** という単語の意味を知らなくても、前後の文脈から「仮説」という意味であることを推測できる力も必要です。

III

■出題のねらい

環境汚染（プラスチックごみ）に関する記事を読み，英文と図を参照しながら情報が正確につかめているかを問う問題です。

■採点講評

比較的よくできていました。[15]と[16]については2つとも正答した人は少なかったようですが，落ち着いて英文から1つ1つ条件に合うかどうかチェックしていけばできるはずです。図の中にある情報も見逃さないように注意しましょう。

IV

■出題のねらい

絵文字のコードについて書かれた英文の内容理解を問う問題です。英文読解のための基礎的な語彙や文法の知識に基づいて，段落ごとに述べられている趣旨をつかみながら，全体として何を伝えているのかを理解することが大切です。

■採点講評

かなり専門的な内容も含んだ難しい英文ですが，比較的よくできていました。[19]の正解となる語（ambiguity）は「あいまいさ」または「両義性」という意味ですが，本文の趣旨は絵文字がその「あいまいさ・両義性」ゆえに，場合によっては読み手によって多様な意味に受け止められることが便利だということです。[20]は前後の文の接続関係を問う問題です。絵文字を変換できない問題をかかえていた海外のベンダーにとって，当時のUnicodeでそれを表すすべがなかったことは，さらなる困難であったことを理解しましょう。[21]のconsiderableは「相当量の」という意味です。

V

■出題のねらい

しばしば「敬語」というものが存在しないと思われている英語にも，丁寧さや礼儀正しさを表現する仕方があることを示す英文をもとにした，語句整除による英作文問題です。単に機械的に語を並べ替えるのではなく，前後の文脈を理解して，的確な文を自分で作ることができるようにすることが大切です。

■採点講評

英作文問題は，全般的に正答率が低かったです。問題個所の前後を含む文全体の構文をつかむようにしましょう。とくに関係節をと含んだ文構造に注意する必要があります。参考までに，該当部分の正しい語の並び方は，次のようになります。

27 ⑥which ⑤is ②generally ①safe ④to

28 ②whether ③we ⑥are ①very ⑤polite

29 ⑥not ④to ③swing ⑤too ①violently

また，この文の「英語にも敬語に相当するものがある」という趣旨から 30 の正答を考えましょう。